

日時	平成 27 年 2 月 3 日 13:50～16:00
派遣先	千葉市立千葉高校
<p>13:50 次世代才能支援室に集合し、派遣先に向けて出発する。</p> <p>14:35 千葉市立千葉高等学校に到着。米谷先生が迎えに来てくださり、資料とともに日程と活動内容を説明していただいた。</p> <p>14:50 1 年生の理数科のクラスにて、科学研究発表のプレゼンテーションが始まった。発表 4 分、質疑応答 2 分で高校生が 3～4 名のグループを作り、プレゼンテーションをした。留学生とアンバサダーには各グループに対するコメントシートが渡された。高校生は今年の 9 月に海外短期留学を控えているようだ。また、1 年後には本格的なプレゼンテーションをする機会があるそうで、それらをふまえて参加した。発表時間も限られている中、専門用語が多く理解することが難しいこともあった。留学生は物理が専門ということもあって、積極的に質疑応答に参加していた。答えられなかった高校生が、休み時間にもう一度聞きに来るといふ様子も見られ、彼らの前向きな姿勢が感じられた。</p> <p>15:35 授業が終わり、コメントシートの仕上げをする。</p> <p>16:00 活動を終え、千葉市立千葉高等学校を後にする。</p>	
 	
派遣先教員 コメント	急遽、1 年生の英語でのプレゼンテーション発表会に留学生を派遣していただき、ありがとうございました。留学生に来ていただき、生徒たちも頑張って英語を使おうという姿勢が現れてきました。
留学生 コメント	The visit to Chiba Municipal Chiba high school gave me a good chance to know that what Japanese students do in high school. And I like to have the chance to study the different between Japan and China.
学生リーダー コメント	専門的なプレゼンテーションの理解に追いつかず、コメントをする上で大変なこともあった。高校生にとってプレゼンテーションの内容を覚えるのではなく、説明すること、難しいことであるように感じた。英語の発音や、話し方に対するサポートがあっても良いのではないかと感じる。